

第82回企画展

# 陸奥国分寺展

「発掘黎明期の挑戦者」



観音堂西側の調査のようす



出土した瓦の洗浄作業



西階塔基の調査のようす



僧坊跡の調査のようす

開催期間

平成29年

10月20日 **金** ▶ 12月17日 **日**

東北大学大学院文学研究科・東北大学総合学術博物館共催企画

※写真は全て東北大学大学院文学研究科の提供

# 陸奥国分寺展

## 「発掘黎明期の挑戦者」

### ◎陸奥国分寺

陸奥国分寺は、天平13年(741年)に聖武天皇が仏教によって国家を治めるために、発布した詔をうけて造営されました。しかしその後衰退していき、慶長12年(1607年)には伊達政宗が陸奥国分寺を再興するために、薬師堂を建立しました。

### ◎陸奥国分寺跡の発掘調査

最初の調査は、昭和30、34年(1955、59年)に東北大学の故伊東信雄教授を中心に行われ、創建当時の大規模な寺院の姿が明らかになりました。  
本展では東北大学所蔵資料をもとに、最初の発掘調査の成果と当時調査に携わった人々を中心に紹介します。

### 講演会

## 陸奥国分寺・国分尼寺の成立と展開

### —文献資料と考古学資料—

〔日時〕平成29年11月19日(日) 13時30分～15時30分

〔講師〕東北大学大学院文学研究科

准教授 堀裕先生

〔会場〕地底の森ミュージアム 研修室

〔対象〕一般60名(先着順) ※入館料が必要です。

### ギャラリートーク

〔日時〕平成29年10月21日(土)

14時～15時

〔講師〕地底の森ミュージアム  
学芸員

〔会場〕地底の森ミュージアム  
企画展示室

〔対象〕当日来館者(申込不要)  
※入館料が必要です。



回廊跡と中門跡(発掘調査当時)



回廊跡と中門跡(現在)



塔西側の瓦出土状況

### ◎入館料

区分	個人	団体	共通入場券
一般	460円	360円	490円
高校生	230円	180円	280円
小・中学生	110円	90円	150円

※団体:30名以上

※共通入場券:自館と仙台市縄文の森広場の同館見学にお得です。

※自館は「どこでもバスポート」対象施設です。

### ◎利用案内

開館時間/9:00～16:45(入館は16:15まで)  
会期中休館日/  
10/23, 26, 30 11/6, 13, 20, 24, 27 12/4, 11

### ◎交通案内

地下鉄南北線長町南駅[西1・2]出口より西へ徒歩5分  
JR長町駅より西へ徒歩20分  
東北自動車道仙台南ICから東へ約7km



公益財団法人 仙台市市民文化事業団  
**地底の森ミュージアム**

仙台市宮沢遺跡保存館 Tomizawa Site Museum

〒982-0012 宮城県仙台市太白区長町南4-3-1

TEL.022-246-9153 FAX.022-246-9158 E-mail:t-forest@coral.ocn.ne.jp

地底の森ミュージアム

検索